



関村俊介

登場人物

茅ヶ崎

小松

染谷

武藤

城戸

平賀

桜小路

田中

坪井 高木 金村 飯島

会社の休憩スペース。ゴミ箱がある。

茅ヶ崎、小松、染谷がそれぞれ過ごしている。

茅ヶ崎は背中が腫れている。

小松 茅ヶ崎さん。

茅ヶ崎 なに？

小松 それ、どうしたんです？

茅ヶ崎 なにが？

小松 いやいやいや、背中。

茅ヶ崎 背中？

小松 はい。

茅ヶ崎は背中を触ろうとするが身体が固い。

しばらく見る。

小松 身体固いっすね。

茅ヶ崎 固くねえよ。

小松 固いですよ。

茅ヶ崎 固くないって。

小松 固いですよ。

茅ヶ崎 固くないよね？

染谷 固いよ。

茅ヶ崎 …固いつてさ。

小松 固いですよ。

茅ヶ崎 そっか、俺、身体固いのか。

小松 はい。

茅ヶ崎 あ、来週ゴルフ行かない？

小松 ちよっと待っててください。

茅ヶ崎 あ、スケジュールまだわからない？

小松 違う違う、話題を変えるのを、待ってください。

茅ヶ崎 え？まだ身体固い話する？身体固い、でなんか面白い話でもあるの？

小松 ないですけど。

茅ヶ崎 ないですけども？

小松 本当にないですけど。

茅ヶ崎 じゃあなに？

小松 背中、どうしたんですか？

茅ヶ崎 なんかおかしい？

小松 ええ。

茅ヶ崎 刺青でも入ってる？

小松 もし刺青が透けて見えてたら、俺、怖くて、指摘できません。

茅ヶ崎 じゃあなに？

小松 腫れてますよ。

茅ヶ崎 腫れてねえよ。

小松 腫れてるんですよ。

茅ヶ崎 腫れてないって。

小松 腫れてますって。

茅ヶ崎 腫れてないよね？

染谷 腫れてるよ。

茅ヶ崎 …腫れてるってさ。

小松 腫れてますよ。

茅ヶ崎 じゃあ取って。

小松 え？

茅ヶ崎 取ってよ。

小松 俺が？

茅ヶ崎 うん、取って。

小松 茅ヶ崎さん。

茅ヶ崎 なに？

小松 背中が腫れてるんですよ？

茅ヶ崎 だから取って。

小松 背中に、バカって書いた紙が貼ってあるとかじゃないんですよ。

茅ヶ崎 貼ってある、と、腫れている、を聞き間違えてるわけじゃないよ。

小松 じゃあ取れるわけじゃないですよね。

茅ヶ崎 ん？

小松 医者じゃないんだから。腫れてるの、取れないでしょ。

茅ヶ崎 試しに試しに。やってみて。

小松 嫌ですよ。

茅ヶ崎 取れるかもしれないじゃん。

小松 取れちゃった時のほうが嫌なんですよ。

茅ヶ崎 え？

小松 試しにやってみて、取れたら怖いでしょ。

茅ヶ崎 怖いかなあ。

小松 確実に血は出ますよ？

茅ヶ崎 ちよっとくらいなら出てもいいでしょ。

小松 ここ会社ですよ？

茅ヶ崎 だから？

小松 血が出たら大変なことになりますよ？

茅ヶ崎 ちゃんと拭いておけば怒られないでしょ。

小松 そういうレベルで済むとは思えないんですよ。

茅ヶ崎 え？そんなに腫れてるの？

小松 そんなに腫れてますよ。



茅ヶ崎 そんなには腫れてねえよ。そんなに腫れてる感じしないもん。

小松 もう感覚無くなってるんですよそれ。

染谷 私やろうか？

小松 え？

染谷 試しに取ろうとしてみようか？

茅ヶ崎 やってやって。

小松 嘘でしょ？やります？

染谷 面白そうじゃん。

茅ヶ崎 だよね？

小松 いやいやいや、取ってみたら、中からズルつとよくわからない物体とか出てくるかもしれないですよ？

染谷 …面白そうじゃん。

小松 染谷さんは感性が俺とはだいぶ違いますね。

茅ヶ崎 やろうやろう。

染谷は茅ヶ崎のほうへ。茅ヶ崎は取られる体勢になる。

小松 待つて待つて待つて。せめて準備しましょう。

染谷 準備つてなに？

小松 なんがあるでしょ、こういう時は。

染谷 誰かの背中が腫れていてそれを取ろうとしてる時の準備、つてなに？

小松 そう言われたら、俺も経験ないんで、よくわかんないですけど。

染谷 だったら、準備のしようがないじゃん。

小松 それでも、なんか準備したほうがいいでしょ。

染谷 例えば？

小松 えーと…ほら！タオルとか！そういうのあったほうがいいような気がしませんか？

染谷 ちよつとよくわかんないな。

小松 もし血がでた時に、タオルあったほうがいいでしょ。

染谷 まあそっか。

茅ヶ崎 ねえ。早くしてくれない？

小松 茅ヶ崎さん。

茅ヶ崎 なに？

小松 会話に参加してくださいよ。

茅ヶ崎 あ、来週ゴルフ行かない？

小松 よく今ゴルフのこと考えられますね？

茅ヶ崎 俺が今したい会話はそれだからさ。

小松 脳みそどうなってますか。何をしようとしたのか忘れたんですか？

茅ヶ崎 いやいや、腫れてるの取ってほしい、とも思ってるよ、もちろん。

いつの間にか染谷はタオルを持って来ている。

染谷 じゃ、取るよ。

小松 待って待って。

染谷 なに？

小松 タオルを持ってきたとて！

染谷 なに？

小松 タオルを持ってきたとて！即取ろうとしないでくださいよ。

染谷 まだ何かいる？

小松 わかんないっすけど。ていうか、なんでここでやろうとしてるんですか。病院でやってくださいよ。

染谷 病院だと、私にやらせてくれないでしょ。

小松 そうなんですけど。なんで染谷さんがやろうしてるんですか。

染谷 やってみたいじゃん。

小松 そのモチベーションはどこから湧いて出てるんですか。

茅ヶ崎 でもさ、俺、病院嫌いなんだよ。

小松 嫌いでも、病院行くしかないでしょ。

茅ヶ崎 それにさ、早く解決したいじゃん。

小松 え？

茅ヶ崎 早く解決したいんだよ。

小松 だったら早く病院行きましょう。

茅ヶ崎 そういうことじゃないんだよなあ。

染谷 小松くん。

小松 なんですか？

染谷 取れるわけないじゃん。

小松 え？

染谷 さつきからすごいいろいろ言ってるけどさ、どう考えたって、ここで取ろうとして取れるわけないでしょ。取れると思ってるみたいだけども、どうかしてるよ？

小松 俺も、取れるとは思ってないですよ。

染谷 そのわりにはさ。

小松 万が一、つてことがあるじゃないですか。

茅ヶ崎 あるからなに？

小松 じゃあ、バンジージャンプで考えてください。あれ怖いでしょ？遊園地とかだと、絶対安全に作られてるはずですけど。やる前に体重量るんですよ、あれ。体重によってロープの調整するから。体重計の目盛のところの色分けされてて、それ見て係員が調整するんですよ。「あれ？俺の体重のところの色、赤だったけど、本当に大丈夫かな？」とか思っても、聞いたらビビってるみたいに思われそうで聞けないんですよ。そんで飛ぶところに行ったら、なんでかわかんないけど、やけに陽気な係員がいて「3、2、1、バンジー。で飛んでくださいね、じゃあ、いきますよー。3！…2！…1！…バンジー！」「いや飛べない飛べない、怖い怖い」ってなるじゃないですか。ならないにしてもそういう気持ちは少しはあるでしょ。それは、万が一つてことがあるかもな、つていうことじゃないですか。なんかの間違いでロープが切れたら死んじゃうんだから。さっき体重計の目盛のところ赤だったんだから。それと同じじゃないですか。

染谷 でも、取れるわけないから。

小松 そうなんですけど！

茅ヶ崎 取れなかつたら病院行くから。

小松 最初から病院に行つてほしいんですよ。

茅ヶ崎 わかるけど、早く解決するにこしたことないからさ、試させてよ。

小松 わかりました、もうどうでもいいです。やっってください。

染谷 じゃ、いくよー。

茅ヶ崎 うん。

染谷 3！2！1！バンジー！

暗転。

平賀、武藤、城戸が座っている。

城戸 それで、ズルつと取れてさ、中から珠のような赤ちゃんが出てきて、せな太郎と名付けて大切に育てたんだって。

武藤 え？

城戸 で、やがて大きくなった、せな太郎は犬、猿、カラスをお供に、鬼が島に行つて、悪い鬼を退治したんだって。

武藤 そんなわけないでしょ。

城戸 鬼が島からの帰り道にせな太郎は子供にいじめられてる亀を助けてさ、

武藤 ちよつと。城戸？

城戸 その亀が竜宮城っていう城に連れて行ってくれて、鯛とか平目とか鰯とかのお刺身をごちそうになるんだけど、竜宮城って、魚たちの国にあるお城だからさ、刺身を食べてる間、ずっと、まわりにいる魚たちが泣いてて、とつても気まずかったんだって。それでお土産に、

武藤 ストップストップ。

城戸 なに？

武藤 その話、絶対に嘘だよな？

城戸 あ。ごめんごめん、ちよつと話、盛った。

武藤 ちよつとどころじゃなかったけどね。

平賀 なんだ、話盛ってたのか。

武藤 信じる方がおかしいでしょ。

平賀 そつか。で、本当は、せな太郎は何をしたの？

城戸 話盛ったって言ったよね？

平賀 うん、だから、本当は、せな太郎は大きくなって鬼退治じゃなくて、何をしたの？

城戸 だから、えーと、せな太郎はいない。

平賀 あ。

城戸 うん。

平賀 そっかそっか、そうだよね。で、本当はなんていう名前にしたの？

城戸 あ、うん、違う違う。

平賀 え？

城戸 赤ちゃん出てきてない。

平賀 え？え？どこから話盛ってたの？

城戸 ズルっと取れたところから。

平賀 じゃあ実際は。

城戸 取れてない。

平賀 取れてないのか。

武藤 取れるわけないでしょ。

平賀 じゃあ茅ヶ崎さんはどうなったの？

城戸 今は、どうにもなってない。腫れてるだけ。今は。

武藤 いつかどうにかなりそうない方しないですよ。



試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

今度は背中が腫れている（おためしサンプル）

---

2018年3月11日 初版発行

著 者 関村俊介 © 2018年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529

---